

新時代に飛躍する新・大雪圏域観光振興プロジェクト 2,700万円

担当:産業振興課

【目的】

- ◎「3密」を回避した滞在観光エリアとして、大雪圏域の国内での認知度向上を図る。
- ◎四季折々の自然や食、歴史・文化体験、スポーツ環境を求めて何度も訪れたい地域として宣伝する。
- ◎観光関連産業の振興と交流人口の拡大により、地域経済の活性化を促進する。

【内容】

- 大雪山国立公園を核とする自然豊かな大雪圏域のさまざまな産業分野における民間企業や行政機関が一体となり、ブランド形成に向けた事業に取り組む。
- ◎「マウンテンシティリゾート」推進モデルコースや観光メニューの開発と支援、観光客誘致
- ◎地域ガイドの育成やガイドセンターの運営
- ◎マウンテンシティリゾートとイメージ連携させた地元デザイナーによるブランディング
- ◎国内需要を中心とした新しい形態の観光誘致拡大事業の実施と支援

北海道の自然・食・文化を活かしたコンテンツ創出×外国人の活躍 2,000万円

担当:産業振興課

【目的】

「大雪山文化」「写真文化」「家具デザイン文化」をキーとした「ヒト・モノ・コト」の相互連鎖による多文化・多世代共生のまちづくりを進める。

【内容】

- アドベンチャートラベル（アクティビティ、野外体験、異文化体験）を東川町の自然・体験・文化資源を複合的に活用して事業展開する。
- ◎地域・ガイド留学生活用型育成
- ◎海外連携型ガイドスキルアップ
- ◎ガイドセンタープロモーション
- ◎体験型観光専門家事業推進指
- ◎外国人活用アドベンチャートラベル



文化を起点とした価値連鎖のまちづくり 1億4,400万円

担当:産業振興課ほか

【目的】

- ◎東川町固有の歴史・風土を起点とする「大雪山文化」「地下水生活文化」「農民彫刻文化」「家具クラフト文化」をまちの資本として蓄積し、磨き上げる。
- ◎文化資本を経済的な価値に変え、関係人口や転入者を増やすことで、まちの経済の活性化（町外から資金を呼び込むなど）につなげていく。
- ◎都市部の人材や民間企業などの専門性、技術、能力、つながりなどを活用して、文化をさまざまなコンテンツに磨きあげたり、価値を転換したり、新たな価値を付与することで、東川町独自の新しい製品やサービスを創り出す。

【内容】（主なもの）

- ◎地下水生活文化保全（水質検査、山林保全など）
- ◎家具・クラフト文化啓発（家具購入など）
- ◎大雪山文化価値創造（農産物、水資源、アイヌ文化）
- ◎農民彫刻文化事業（松田与一郎運営など）
- ◎文化経済循環促進事業（テレワーク施設運営、新・東川スタイル発行など）
- ◎文化観光推進事業（東川ミーツ運営など）
- ◎文化関係人口拡大事業（ギャラリーZEN運営・環境改善、サテライトオフィス基本構想など）

▼企業版ふるさと納税の活用促進

文化や今後のまちづくりを担う人材育成などのために寄付を募り、子ども、スポーツ人材、子育て世代、国際交流などに役立てます。

「選好」をキーワードにした新しいまちづくり～『コンステレーションタウン』 9,300万円

担当:産業振興課ほか

【目的】

- ◎町内の家具・木工業者やデザイナーと連携し、新たな製品開発や、世界への販路を開拓する。
- ◎町民のみならずがまちの事を知り、まちの魅力や強みなどを誇りに思える「タウンプライド」を醸成するためのプロモーションを展開。
- ◎町独自の産業連関表を活用し、地域の経済構造分析を行うことで、まちの「稼ぐ力」や「雇用力」が高まるような政策や事業を展開。
- ◎町外から東川町を訪れる人（観光客を含む）や、移住を考えている人、移住してきた人、町に住み続けたいと思っている人を、東川町を「選好」している人と定義し、関連するデータを分析することで、今後のまちづくり戦略を立てる。

【内容】（主なもの）

- ◎「椅子の日」関連企画
- ◎家具・クラフト市
- ◎ECサイト構築
- ◎隈研吾×東川町KAGUデザインコンペ
- ◎デザイン椅子商品化
- ◎産業連関表の活用



令和3年度 地方創生関連事業の概要

今年度の地方創生事業をご紹介します。国などからの交付金を最大限活用することで、実質的な町の負担はここに記載した事業費の4分の1以下となっています。（事業費は百万円単位で端数処理）

「KAGUの家」ヴィレッジ 4億4,500万円

担当:産業振興課ほか

【目的】

- ◎新しいテレワーク時代に合う「脱・箱」のモデルとしてサテライトオフィスを整備し、首都圏などの企業を中心に新たな働き方を提案する。
- ◎町内事業者製作の椅子やテーブルを配置し、木工家具を振興する。
- ◎まちなかを歩く人を増やし、町内消費の拡大・新規需要の創出につなげる。
- ◎世界的な建築家・隈研吾氏に整備プランを依頼するとともに、家具デザインやデザインミュージアム構想の実現に向けた連携を進める。

【内容】

- ◎サテライトオフィス「KAGUの家」4棟の建設（東町1丁目7番エリア、令和4年度開設予定）
- ◎周辺環境と散策道の整備



「適疎ワーキング」1億4,000万円

担当:企画総務課・産業振興課ほか

【目的】

- ◎「適疎」な環境で、町内のどこでも・誰でも・いつでも仕事をできるようにする。
- ◎東川町内をまるごと「フリーアドレス施設」にし、都市部から訪れる方も町民の方も、「適疎」な環境で働く場・リフレッシュする場・仲間と談話する場の日常を実現する。
- ◎ポストコロナ（新型コロナ終息後）に向け、新たな人々の動きと滞在が地域の人々との交流を促し、「共に」発展をしていく本町の活性化の事業として民間事業者、大学等と連携し、企業等との関係人口創出・拡大推進を行う。

【内容】

- ◎公共施設のフリーアドレス型デスクの通信環境・ワークスペースなどの環境整備
- ◎町外からの人材や資金を、町内での起業、協業連携等に活用するしくみを官学連携による調査研究等により構築
- ◎民間企業等の外部人材と連携し、関係人口拡大、人材活用、企業連携交流事業を行う

テレワーク施設への改修 1億円(地方創生テレワーク交付金)

担当:企画総務課・産業振興課・東川スタイル課ほか

【目的】

- ◎都市部から地方への新しい人の流れを創出し、地方分散型の活力ある地域社会への実現を図る。
- ◎東川町民と関係人口の方の交流や働く場などを創出する。
- ◎テレワーク人材と町内資源・人材のつながりを加速させる。

【内容】

- ◎町内の既存3施設を、特色あるテレワーク施設に改修する。
 - ①屋内外一体型町民交流施設（ギャラリーZEN）南町3丁目3番2号
【概要】屋外・駐車場の整備、壁・屋根等の改修、什器・機器導入など
 - ②「家族ワーク」東川オフィス（岩島邸）西町3丁目3番5号
【概要】屋外・駐車場の整備、内装・設備・外壁・屋根の改修、什器・機器導入など
 - ③「個室ワーク」東川オフィス（東町会館の一部）東町1丁目1番7号
【概要】内装・給排水設備の改修、駐車場整備、什器・機器導入など

- ◎町の施設やゲストハウスなどを一元管理し、WEB予約もできる「東川テレワークデータベース」の構築と活用

